

阿武隈川河口の護岸調査(H24. 6. 7)

■ 位置図及び調査箇所

位置図



【調査概要】

被災護岸工における護岸基礎構造(矢板の有無)を確認するためにRCLレーダー及びコンクリートコアボーリングマシンによる探査を行った。

【調査結果】

RCLレーダーによる探査が行える環境になかったため、ボーリングによるコア抜き取りを行った結果、矢板は無く、基礎(松)杭を確認することが出来た。

【参考】

コンクリートの表面は、波浪等により浸食されているが内部の状態は健全なものであった。

調査箇所全景

